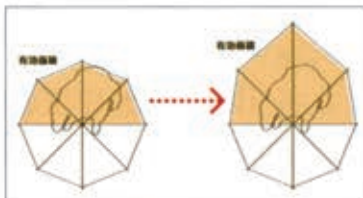


その昔、傘は丸かった 株式会社パアグ

傘は丸い物（正多角形）が当たり前ですが、新しいスタイルと機能性を両立した、前後非対称傘型の傘『しずくシンプル8』誕生。

「傘をさすと、実際に体が入るのは後ろ半分。それならばと、背中を覆う部分を大きくし、その他の部分を小さくした」そう語る株式会社パアグのアイデアマン住友敬之社長さん。そして出来上がったのが傘の前と左右が45cm、後ろが72cmの傘。その独特のしずくフォルムで強い雨でもゆったり体をカバーでき、背中やお尻が濡れにくい形状を実現。有効面積は1.6倍！それでいて今までのビニール傘より35%もの軽量化も実現！目からウロコ！



「新しい物を造るのは中小企業の方が得意。だが販売力が弱いので協力して欲しい。」と、コンビニ大手の経営者トップに直接傘を送る。新しい製品を出す事は、市場を変えるという事。販売店にとっては自分たちで培ってきた市場を邪魔されたくないとの考えがある。断る事を考える会社が多い。その中でF社はきちんと対応してくれた。先ず9～10月に関東で試験販売したが、その期間東京で雨が降ったのは2日だけ。17年降りの晴天続き。天は味方してくれなかった。色々あったが、販売の主力はやはり一番熱心であったF社。



「新製品ということで、テレビ局6局がこの傘の取材にやって来た。」2011年10月のNHK『おはよう日本』の放送が特に売上アップに繋がった。さすがNHKで放送されると一流品と認められるのか、在庫一掃の売り上げとなった。

現在生産は中国。日本の企業は『Made in China』を隠したがるが、『共同開発』とはっきり明記する事により、作って貰っている相手を尊重し一緒に成長する気持ちを表現したいと思っている。しかし、中国での工賃が上がってきて、いずれ価格競争に行き詰まる。ビニール傘のシェアは年間100億円の消耗品市場。大きな商売の為には、リスクを恐れず是非日本で価格競争に負けない商品造りを目指すべきと考えている。

アイデアは愛から生まれる／『SUPER 風呂バンス1000』他、アイデア商品

「売れたらいいのではなく、出発点は『愛』なんだよ！」と社長は力説。

『しずくシンプル8』は小学生が雨の中傘をさして通学している姿を見て、ランドセルがひどく濡れているのがかわいそうで、それを解決する事を考えた。

パアグの主力商品である電気バスヒーター『SUPER 風呂バンス1000』は、阪神淡路大震災の折、電気・水道は比較적으로早く復旧したが、地中を通るガス管は、ガス漏れ事故の恐れから復旧が遅れ、お風呂に入れない人々を見て発案。それが電気でお湯を沸かせる電気バスヒーターの開発に至った。『愛』から商品が生まれるのだ。バスヒーターは漏電というリスクが伴うので



大企業は作らない。小回りの利く中小企業ならではの商品である。漏電ブレーカー、温度サーモスイッチとヒューズ等の何重もの安全装置で対処し、全品検査で絶対の安全性を確保している。



『SUPER 風呂バンス1000』の電気代は、メーカー試算で1日約32円。ガス・水道代を年間約62,000円大幅に節約。本体代金は半年程で元が取れる。CO₂を出さず、余分な水を使わない地球に優しいエコ商品。エコも『愛』である。冬場の温度差が原因で、お年寄りが脳卒中等で倒れるのはトイレが多い。設置式の暖房機は狭い上に足元に暖房機を置くと、汚れやすく、コードなどが引っ掛かり事故が起こりやすくなる。それではと、トイレ用照明にハロゲンヒーターを合体して天井に取付可能にした。トイレの照明を点ける感覚で暖房も同時にオン。照明を消せば暖房もオフ。夏場はヒーターのみ消すことが出来る。まるでお日様のように真上からポカポカ。今までにない新しいヒーター一体型天井照明『ポカピカ』の誕生。



その他『クールダウンベスト』は屋外作業員が熱中症になる前に予防できるウェア。中小企業基盤整備機構の『新連携』補助金を受け、薬屋さんと連携して開発。その他にも新商品を開発中。新しい『愛』がどんどんあふれてきている。

20秒で説明できるものしか作らない

中小企業が作った電化製品についての海外からインタビューを受けた話。商品開発中のトラブル等、楽しい話、苦労された話、裏話等を「楽しいやろ」って言われながらたくさんお伺いしました。仕事上での関係はないが、国内大手の家電メーカーの経営トップの方とお友達になられてからの逸話を1つ。超大大企業の偉い方だが「すべての方が自社の商品を使って頂いているお得意様と思って接する。」という姿に頭が下がる。

その方から、「ものづくりにおいて一番大事にしている事は何か？」と聞かれた時、「20秒で説明できるものしか作らない。」と答えて、いたく感心された。「何気ない言葉だが、それを言える企業は少ない。」と…。今それが株式会社パアグの企業理念のひとつになっている。

※ 誌面スペースの都合上、取材記事を一部省かせて頂いております。
全文はマッチングサイト「元氣!こうせいビジネスタウン」でご覧下さい。
URL: <http://www.genki-cosei-bz-town.jp/>

株式会社 パアグ 代表取締役社長 住友 敬之

〒536-0008 大阪府城東区関目2丁目3番4号
TEL: 06(6935)7055・FAX: 06(6933)2221
E-mail: info@paag.co.jp
web サイト: <http://www.paag.co.jp>

事業概要: 自社開発商品(特許商品)製造販売。
大きな企業では作れない自社の特許を軸にしたオリジナリティあふれる商品を開発し、新しい価値を世の中に広めていけるような未来に希望のある企業を目指しています。

